

報道関係者各位

2009年6月18日(木)

デジタルハリウッド大学大学院、株式会社オプト

次世代のIT・コンテンツ産業の更なる発展を目指し、

株式会社オプト取締役会長 CSO 海老根智仁教授による

『次世代 IT・コンテンツ産業研究室』を開設

日本初の株式会社による専門職大学院、デジタルハリウッド大学大学院(東京都千代田区 学長杉山知之、以下本学)は、株式会社オプト(東京都千代田区、以下オプト)の取締役会長 CSO であり、本学の専任教授でもある海老根智仁氏による「次世代 IT・コンテンツ産業研究室」(以下研究室)を設立いたしました。

「創造性」が経済的価値を生み出す「創造型社会」へ移行している昨今、IT やデジタルコンテンツを用いたアプローチを応用するアイデア、表現、プロセス、マーケティング手法などがこれまで以上に求められる時代となりました。

そのため本研究室では、世界的な IT・コンテンツ産業の発展に僅かでも寄与するべく、企業や業界の枠を超えて人脈や業界ネットワークを構築し、IT・コンテンツ業界に貢献度の高いテーマの研究から社会への投げかけを強めることを目的としております。

なお、次世代に向けて IT・コンテンツ産業を更に発展させるためには、業界の未来を切り開くような創造的な研究ポテンシャルの充実が不可欠となっています。このような創造的研究の推進においては、研究者個人の資質、特に発想の自由な若手研究者の活躍が期待できるため、創造性、独創性に富んだ若手研究者が、自由な発想で主体的に研究できる場として本研究室を設立いたしました。

主に、IT人材の育成、映像制作、モバイルの3つの領域をメインに研究活動を行う予定です。

【研究室 概要】

研究室名称:次世代 IT・コンテンツ産業研究室

開設日 :2009年5月19日

研究室代表:海老根智仁

①人材育成分野

■テーマ

「e-ラーニングを活用したインタラクティブ企業研修のあり方」

■研究概要

現在、e-ラーニングは企業研修の場で広く活用されてきているものの、必ずしも受講者にとって十分に満足のいくツールとはなりきれておらず、知識補充のための一方向的な利用に限定されている。

そこで本研究では、まず現在実施されている e-ラーニングの課題整理および、e-ラーニングに活かすべきIP技術の調査分析を行う。次にこのIP技術を応用・活用することで、インタラクティブ性のある研修を実現できるか実証研究を行う。これらにより、IT・コンテンツ人材育成の、より効果的かつ効率的な企業

研修を提案し、今後のe-ラーニングプログラムのあるべき姿を考察していく。

②映像分野

■テーマ

「映像制作における発注者と制作者のコミュニケーションギャップに関する研究」

■研究概要

映像制作においてコストや日程の圧迫要因となるものの中に、制作発注側と受注側の認識の違いによる映像の作り直しや修正が挙げられる。このような問題は映像制作に限らず Web 制作やシステム開発においても同様である。特にソフトウェア開発やシステム開発では要求の仕様化のスキームについて様々な手法が提案されている。1990 年代には従来のウォーターフォール型の開発手法が見直され、アジャイルな開発手法が提案され納期短縮の要求に応えるものとして注目された。

本研究では、近年、映像制作における加工・編集作業のデジタル化の流れが加速しつつあることを受け、これをソフトウェア開発に準え、映像制作における要求の「仕様化」をすることを目的とする。コンテンツは企画の段階においては抽象的なイメージであり、それを具現化する制作工程で「認識のずれ」が発生する。このずれを極小化するプロセスが「仕様化」であり、これを業界で標準化することは映像産業の発展に極めて重要であると考えられる。

また映像制作を取り巻く環境は、制作プロセスのデジタル化だけでなく、配信・流通のシームレス化も加速させると予測される。これにより、従来の「クライアントへの合意」から直接「エンドユーザーへの合意」という流れを実現できるのであれば、これまでにない新たなコンセンサスの取り方も可能になると考える。

③モバイル分野

■テーマ

「モバイル SNS におけるコミュニケーション動向の研究調査」

■研究概要

主なミッション:

近年、利用者が急増しているモバイル SNS だが、2012 年には 7000 万人を超えるとの調査結果もあり、若年層を中心に新しいライフ・プラットフォームとして社会的な役割を担いつつある。本研究では、モバイル SNS の主要な機能である「コミュニケーション」にフォーカスをあて、その傾向を定量・定性的に調査することで、ユーザーがモバイル SNS を通したコミュニケーションに求める目的を典型的に検証していく。

【デジタルハリウッド大学大学院 概要】 <http://gs.dhw.ac.jp/>

コンピュータの発展により実現されたデジタル社会において、デジタルコンテンツを基盤とする新たな文化創造と産業創造を行い、21 世紀以降の人類社会の永続的かつ幸福な発展に貢献するという理念に基づき、2004 年 4 月、日本初の株式会社立大学院として「デジタルハリウッド大学院大学」を設立。

<開学目的>

本学は、教育基本法に則り、学校教育法の定める専門職大学院として、デジタル社会における重要でかつ専門性を必要とするビジネス&コンテンツを創造する職業を担うための、深い学識及び卓越した能力を培う実学を中心に、広く知識を受けるとともに、深く専門の学術を教授、研究し、個性豊かな教養高き人格を備え、応用能力と実践性に 富む有為な人材を養成し、文化の向上と産業の発展に寄与



する。

＜教育理念＞

コンピュータの発展により実現されたデジタル社会において、デジタルコンテンツを基盤とする新たな文化創造と産業創造を行い、21世紀以降の人類社会の永続的かつ幸福な発展に貢献する。

設立機関：株式会社による専門職大学院（専門職課程）

正式名称：デジタルハリウッド大学大学院（専門職）

（英語表記）Digital Hollywood University, Graduate School

教育内容：IT・コンテンツ関連分野における高度人材の育成、研究

取得学位：デジタルコンテンツマネジメント修士（専門職）Master of Digital Content Management

設置主体：デジタルハリウッド株式会社

認可年度：2004年2月16日 文部科学省認可（開学同年4月）

設置学科：デジタルコンテンツ研究科 デジタルコンテンツ専攻

修業期間：2年

【当プレスリリースに関するお問い合わせ】

デジタルハリウッド株式会社 広報戦略部 パブリックリレーションズグループ

担当：川村

mail:press@dhw.co.jp

TEL:03-5281-9248